

○大子町木造住宅建設助成金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、林業の振興及び地域産業の育成を図るため、地域材を使用した住宅を町内に新築する者に対しこれに要する経費について、木造住宅建設助成金（以下「助成金」という。）を交付することに関し、大子町補助金等交付規則（平成22年大子町規則第16号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 地域材 茨城県内において生産かつ加工された木材で、町長が指定する機関の長が認めるものをいう。
- (2) 住宅 地域材を使用した戸建ての専用住宅又は店舗、事務所、賃貸住宅等が併存している戸建ての併用住宅のうち居住の用に供する部分で、自己の居住の用に供するものをいう。
- (3) 新築 町内に新たに住宅を建設する場合で、町内に事業所を有する建設業者において施工するものをいう。ただし、既存の住宅を取り壊し、新たに建設する場合も含むものとする。

(助成対象者)

第3条 助成金の交付を受けることができる者（以下「助成対象者」という。）は、町内において住宅を新築する者で、次の各号のいずれにも該当するものとする。

- (1) 地域材を2分の1以上使用し、及び延床面積が50平方メートル以上の住宅を新築する者。
- (2) 住宅の建設工事（以下「建設工事」という。）完了後、速やかに居住する者
- (3) 町税等を滞納していない者

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる者は、助成対象者としなない。

- (1) 過去3年以内に助成金の交付を受けた者
- (2) 過去3年以内に大子町子育て世帯住宅建設助成金交付要綱（平成24年大子町告示第21-2号）による助成金の交付を受けた者
- (3) 過去3年以内に大子町住宅リフォーム助成金交付要綱（平成27年大子町告示第5

号)による助成金の交付を受けた者

(4) 過去3年以内に大子町空き家バンクリフォーム助成金交付要綱(平成31年大子町告示第26号)による助成金の交付を受けた者

(助成金の額)

第4条 助成金の額は、新築した住宅の床面積1平方メートルにつき10,000円とし、1戸当たり1,000,000円を限度とする。この場合において、助成金の額に1,000円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

(助成金の交付の申請)

第5条 助成金の交付を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、建設工事の着工前に木造住宅建設助成金交付申請書(様式第1号)に次に掲げる書類を添えて、町長に提出しなければならない。

- (1) 木びろい表(様式第2号)
- (2) 市町村税完納証明書
- (3) 建設場所案内図
- (4) 建築基準法(昭和25年法律第201号)の規定による許可が必要な場合は、その許可証の写し
- (5) 建築基準法の規定による建築工事届を提出した場合は、その建築工事届の写し
- (6) 住宅の設計図(平面図、立面図)
- (7) 前各号に掲げるもののほか、町長が必要と認める書類

第5条の2 申請者は、前条に規定する申請をしようとする場合において、当該申請をしようとする年度内に建設工事が完了しないことが明らかであるときは、仮申請をしなければならない。

2 前項の仮申請をする場合においては、前条の規定を準用する。この場合において、同条中「木造住宅建設助成金交付申請書」とあるのは「木造住宅建設助成金交付仮申請書」と、「申請する」とあるのは「仮申請する」と読み替えるものとする。

3 町長は、第1項の規定による仮申請があったときは、内容を審査の上、助成金の交付の可否の仮決定をするものとする。

4 前項の仮決定をする場合においては、規則第4条の規定を準用する。この場合において、同条中「申請」とあるのは「仮申請」と、「決定」とあるのは「仮決定」と、「補助金等交付決定通知書」とあるのは「補助金等交付仮決定通知書」と、「補助金等不交付決

定通知書」とあるのは「補助金等不交付仮決定通知書」と読み替えるものとする。

- 5 前条の規定にかかわらず、既に第3項の仮決定の通知を受けた者から、当該決定が通知された日の属する年度の末日までに別段の申出がないときは、前条に規定する申請があったものとみなす。

(完了報告)

第6条 助成金の交付決定を受けた者（以下「助成決定者」という。）は、建設工事が完了したときは、速やかに木造住宅建設工事完了報告書（様式第3号）に次に掲げる書類を添えて、町長に提出しなければならない。

- (1) 入居した日以後の住民票の写し
- (2) 完成写真（全景）
- (3) 前各号に掲げるもののほか、町長が必要と認める書類

(助成金の取消し等)

第7条 町長は、助成決定者が次の各号のいずれかに該当するときは、助成金の交付決定を取り消し、又は既に交付した助成金の全部若しくは一部の返還を命ずるものとする。

- (1) 入居した日の属する年度の翌年度において、町内に居住していないとき。
- (2) 入居後、町税等に滞納があったとき。
- (3) この要綱に違反したとき。

(助成金の交付手続の省略)

第8条 規則第18条の規定により、規則第11条に規定する補助金等の額の確定の手続を省略するものとする。

(併用の不可)

第9条 この要綱による助成金は、次に掲げる要綱により交付される助成金と併用して利用することはできないものとする。

- (1) 大子町子育て世帯住宅建設助成金交付要綱（平成24年大子町告示第21—2号）
- (2) 大子町住宅リフォーム助成金交付要綱（平成27年大子町告示第5号）
- (3) 大子町薪ストーブ等設置費補助金交付要綱（平成29年大子町告示第61号）
- (4) 大子町空き家バンクリフォーム助成金交付要綱（平成31年大子町告示第26号）

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、町長が別に定める。